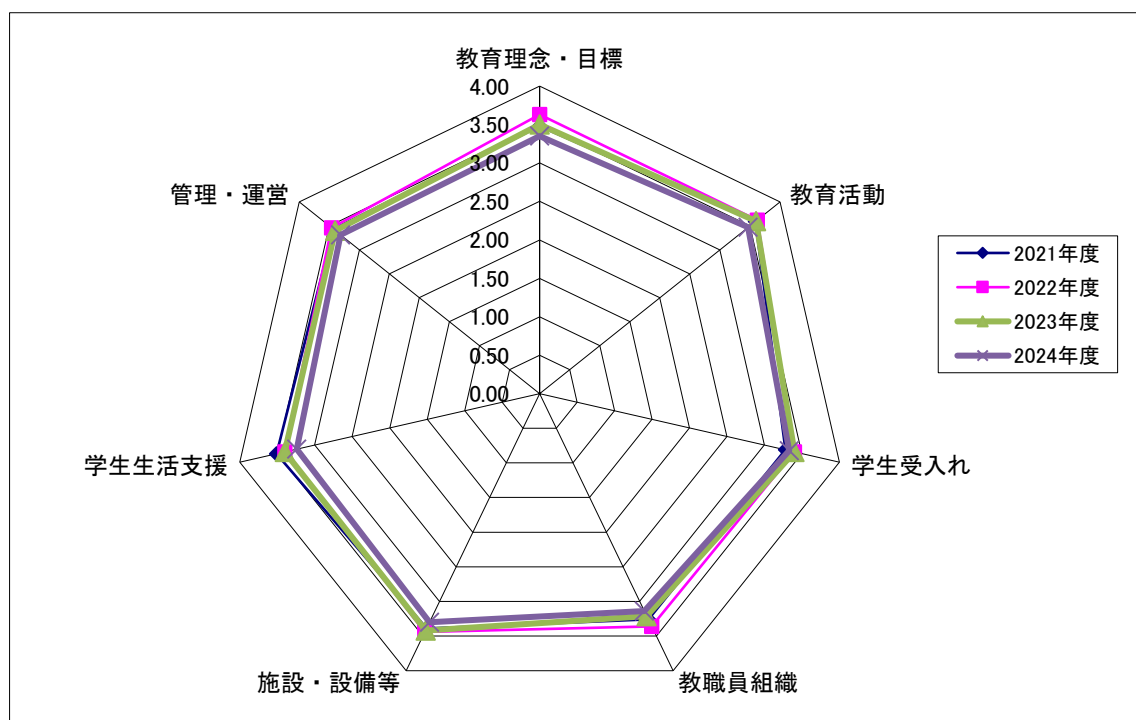


2024年度 医療ビジネス観光福祉専門学校 自己点検・自己評価

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教育理念・目標	3.48	3.63	3.50	3.35
教育活動	3.59	3.62	3.60	3.47
学生受入れ	3.28	3.40	3.40	3.33
教職員組織	3.26	3.36	3.21	3.14
施設・設備等	3.39	3.44	3.42	3.30
学生生活支援	3.51	3.40	3.40	3.24
管理・運営	3.43	3.46	3.40	3.31
平均(4点満点)	3.42	3.47	3.42	3.31



総合評価

全体の平均のポイントがこの4年間でいちばん低い数字になっている。全ての項目において前年より下回っていることの原因として、学科の変化などに一部のブレが発生していることなどがモチベーションに繋がる要因であると言える。それを基とする人員(スタッフ)の変動、施設設備の老朽化などが挙げられる。したがって、全体的に改善が求められる。

細かく項目ごとに分析をすると、まず、改善されたポイントは志願者状況・定員充足率については昨年の2.50から3.15に飛躍した。2024年度の上半期に事務課員の急な異動と退職といった予期せぬ人員の変動が一時期大きく低迷に影響したものの、その後はスタッフが入れ替わり、独自の営業ポイントを見つけ、活発に稼働した結果、総定員100名に対して倍率を出しながら99名の学生を確保することができた。このようなスタッフの入れ替わりが奏功したところもある反面で、学生の受入れに関して、一定数は確保したのだが、本来、なくてはならない受け入れ体制が曖昧なまま進んでいたことから後手を踏んだ部分が多々あり、これらが相殺されて「学生受け入れ」のポイントを下げた。

大きな問題は、教職員組織のポイントで、「資質向上のためのシステムは適切に構築されているか」で昨年の3.17から2.77に下げたところである。学科の編成が変わり、多くの教員は実務経験は豊かだが、当校における勤続年数がまだ浅いことが原因であると思われる。教授法(教育の手法)などを学ぶ機会が少ないことと、留学生に対する対応力は言語の問題より忍耐強さが必要であることなど、いくつかの課題がある。今後、留学生が増大していく中で、これらの手法を同時に並行してスキルアップすることが求められるので、研修会などを活用していきたい。

以上の項目以外の課題にも常に目を向け、教職員全員で検証し、改善点を見つけ出し改善の実践を行うことで自己評価の向上に結び付けていく。